



やさしさとふれあいの西東京に暮らし まちを楽しむ



西東京

主な内容

- 就学援助費の申請受け付け…… 3
- 狂犬病予防の集合注射…… 4
- 都市計画道路3・2・6号線交通開放…… 5
- 平成25年度予防接種改正…… 7
- 4月12日は、西東京市平和の日… 10

No.303

平成25年(2013)

4/1

市役所代表番号 ☎042-464-1311

発行/西東京市

編集/企画部秘書広報課 〒188-8666 東京都西東京市南町5-6-13

配布/シルバー人材センター ☎042-425-6611

詳しくはWebで

西東京市Web

検索

HPアドレス <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

携帯電話 <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/mobile/>



市長所信表明

西東京市民であることに誇りを持てる まちづくりを目指して

3月6日の平成25年第1回市議会定例会で丸山浩一市長が所信を表明しました。その内容をお知らせします。

私は、先の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様のご支持とご信託をいただき当選いたし、2月18日に西東京市長に就任し、市政を担うこととなりました。

今、この議場に立ち、あらためて、その重責に身が引き締まる思いであります。

私は、生まれも育ちも西東京市です。教育者の祖父と医者である父の背中を見て育ちました。心臓血管外科医として23年、その後、東京都職員として17年の行政経験を積ませていただきました。これまでの現場経験や知識を活かし、生まれ育った西東京市の発展のために、人の役に立てる人間になりたいとの決意を、あらためてかみしめているところであります。

そして、市民の皆様が、西東京市民であることに誇りを持てるまちづくりを目指し、私の持てる力を最大限に発揮し、市民の皆様の負託に応えるよう市政運営に臨む決意であります。

市民の皆様、そして市議会議員各位のご理解をお願いしたいと思います。

はじめに

私は、大学時代にラグビーを始め、生涯の友となる素晴らしい仲間と出会いました。そして、東日本医科大学ラグビー大会では、キャプテンとしてチームを優勝に導きました。「前へ、前へ」向かう、最後まで諦めない気持ちは、私の生き方に大きな影響を与えています。

1991年に開催されたワールドカップでは、日本ナショナルチームのドクターとして国内合宿から海外遠征まで帯同し、選手の体調管理から怪我防止を担当し、貴重な経験をいたしました。

ラグビーには、「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」という言葉があります。

「一人は、みんなのために、みんなは、一人のために」を意味する言葉です。敵味方30人で1つのボールを奪いあうラグビーですが、代価を求めず、チームのために己の仕事分担をきちんと消化することが、一番チームに貢献することとされています。また、試合終了と同時に、敵味方のへだてなく、お互いの健闘を讃え合う「ノーサイドの精神」は、19世紀から今日まで続いており、これが、他のスポーツには無い、ラグビーのもつ大きな魅力の一つです。

市政を運営するに当たりまして、職員の士気と意欲を高め、市役所を活気ある組織とすることは、とても重要なことだと思っています。活気ある職場は明るさをもたらす、結果的に、市民サービスの向上にもつながるものと確信しています。

職員は、毎日、市民の皆様へ献身的なサービスを提



第1回市議会定例会で所信を表明する丸山市長

供しています。職員とコミュニケーションを図り、生の声に耳を傾け、お互いの信頼関係を構築し、職員が働きやすい環境づくりを目指していきたいと考えます。

それでは、市政運営に臨むに当たり、私が掲げた4つのキーワードを中心に所見を述べたいと思います。

次世代への責任を果たそう

私は、北多摩北部保健医療圏である小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、そして西東京市の5市の広域的かつ専門的な保健衛生業務及び健康危機管理全般を担う多摩小平保健所長として、保健、医療、衛生、福祉の課題と向き合ってきました。また、平成18年から6年間、児童相談センター所長として、子供たちに寄り添い、子供たちの穏やかな成長を願い、養護、保健、障害、非行問題について、家族、学校、地域、そして本人からの相談に携わらせていただきました。数々の相談事例は、普通に暮らす家庭では、想像が及ばないようなケースもあります。この最前線での体験が、私に生まれ育った西東京市に恩返しがしたいと考えさせる契機を与えてくれました。この経験から、社会問題となっている虐待防止に、まず徹底的に取り組みたいと考えています。

私は、次世代を担う子供たちが、西東京市で生まれ育ち、大人になっても誇りに思えるまちにしたいと考えています。そのためには、子供への施策や子供を育てる親への施策、働く女性への支援が重要であり、教育環境の整備をはじめ、待機児童の解消等に取り組んでまいりたいと考えています。具体的には、妊娠から子育てまで切れ目のない支援を実現したいと考えています。

また、小中学校の教育環境の向上や特別支援教育の

充実を図るとともに、いじめが起きにくい学校づくりを推進し、放課後や週末に子供たちが安心・安全に過ごせる居場所を充実させたいと考えています。

そして、子供たちの知・徳・体を鍛え、子供たちが夢を実現し、実現できる力を市民と共に育て、次世代を担う人材の育成に努める所存です。

もっと健康、もっと元気に!!

少子高齢化の進展に伴い、市民にとって何が幸せかを考えるとき、私は、健康で元気に長寿をまっとうすることだと思っています。私は、そうした市民を一人でも増やすお手伝いがしたいのです。保健・医療・福祉の連携を進め、健康寿命の延伸を図り、もっと健康な人、もっと元気な人を増やすために努力したいと思います。

西東京市は、健康都市を宣言しています。しかし私は、その取り組みが必ずしも十分ではないと考えております。

医療機関情報や健康づくり情報を市民の立場に立ち、さらに、わかりやすく市民に伝えていきたいと考えています。また、高齢者の疾病の早期発見・早期治療に努めたいと考えています。

さらには、各種検診の検診率の向上のため、さらなる普及啓発を図るだけでなく、メンタルヘルスケア(心の健康)の啓発に努め、「うつ」や自殺予防対策を推進したいと考えています。

このほかにも、障害者雇用の促進、民間事業者のノウハウを活かした福祉政策の充実を図るとともに、誰もがスポーツ・文化・芸術に親しめる環境整備を推進することで、名実ともに健康都市宣言にふさわしいまちにしたいと考えています。

2面につづく